

# 高座クリーンセンター等視察研修会



実施日 第1回 令和元年6月28日（金）

第2回 令和元年7月31日（水）

2回の実施で合計 50 名の方にご参加いただき、そのうち 34 名の方が相武台、緑ヶ丘、入谷第1、入谷第2といった近隣地区からでした。

視察研修会は大変ご好評いただき、申込初日に定員に達しましたが、参加できなかった方には、ご希望に沿えず大変申し訳ありませんでした。



©座間市



廃プラスチックの山



圧縮し梱包された廃プラスチック

参加者に記入いただいたアンケートのなかで資源物のリサイクルについてのご質問が幾つかあり、市に確認しました。座間市環境経済部資源対策課からの回答をご紹介します。

質問1：ペットボトルや缶類等のリサイクル材のリサイクルの流れが知りたい。

回答：下表のとおりです。

資源物の種類	リサイクルの流れ
ペットボトル	フレーク化したものを再生業者に販売。 再生品例（ビニール袋、卵パックなど）
アルミ缶	金属精錬材料、または再び缶にリサイクル。
スチール缶	溶解し、鉄を取り出して再利用。
容器包装プラスチック	プラスチックからアンモニアを作り洋服やプラ製品の原料や薬剤として使用。
廃食用油	主に印刷用のインキ原料。

質問2：資源物の歳入と処理量を知りたい。

回答：下表のとおりです。

年度	金額	処理量
平成28	103,108,783 円	7,028,567 kg
平成29	85,111,795 円	6,843,337 kg
平成30	59,820,985 円	6,842,862 kg

質問3：プラスチックハンガーはなぜ燃えないゴミの日に収集するのですか。

回答：業者とその製品を引き取る契約を結んだからです。



「家から出したらそれまで」ではなく、そのあとどのように処理されるのかに関心を持つことは、燃やすゴミの減量とリサイクルの促進にとり非常に大事なことで、視察に参加された方の意識の高さがよく分かりました。これからも市自連は環境意識の啓発を続けていきます。

市自連は  
一見にしかた

